



2020年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年3月13日

上場会社名 株式会社 山王 上場取引所 東
 コード番号 3441 URL <http://www.sanno.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三浦 尚
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 浜口 和雄 TEL 045-542-8241
 四半期報告書提出予定日 2020年3月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年7月期第2四半期の連結業績（2019年8月1日～2020年1月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年7月期第2四半期	3,921	0.8	73	—	46	—	180	—
2019年7月期第2四半期	3,891	△5.8	△57	—	△98	—	△276	—

(注) 包括利益 2020年7月期第2四半期 149百万円 (—%) 2019年7月期第2四半期 △262百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年7月期第2四半期	39.19	—
2019年7月期第2四半期	△59.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年7月期第2四半期	10,077	4,428	43.9	959.48
2019年7月期	9,307	4,279	46.0	927.06

(参考) 自己資本 2020年7月期第2四半期 4,428百万円 2019年7月期 4,279百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年7月期	—	0.00	—	—	—
2020年7月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年7月期の連結業績予想（2019年8月1日～2020年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年7月期2Q	5,000,000株	2019年7月期	5,000,000株
② 期末自己株式数	2020年7月期2Q	384,050株	2019年7月期	384,050株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年7月期2Q	4,615,950株	2019年7月期2Q	4,615,950株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、【添付資料】P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(4)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 継続企業の前提に関する重要事項等	2
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済につきましては、米国では雇用・所得環境に改善が見られ、また懸案事項であった米中貿易摩擦が米中両国政府による第1段階の合意に至る等、牽引役である米国経済を中心に改善の兆しも見られておりましたが、直近では新型コロナウイルスによる感染症の拡大により、先行き不透明感が急速に高まっております。

また、我が国経済においては、消費増税後の内需の落ち込みや企業収益の悪化により、一段と景気低迷感が強まっております。

当社グループが属する電子工業界につきましては、車載・産業機器向け市場では回復が遅れているものの、通信向け市場においては次世代通信規格5G向けを中心に部品需要が拡大しており、全体として部品需要は回復基調にありました。

このような状況を受け、当社グループは、回復基調にある通信向け分野を中心とした受注拡大のため東北工場に新ライン建設を行い、積極的な受注活動に努めるとともに、前期に決定した生産拠点の統合の実現に向けた活動を行ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,921百万円（前年同期比0.8%増）、営業利益は73百万円（前年同期は営業損失57百万円）、経常利益は46百万円（前年同期は経常損失98百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益147百万円を計上したこと等により、180百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失276百万円）となりました。

なお、セグメント毎の経営成績は次のとおりであります。

① 日本

当第2四半期連結累計期間は、車載分野や産業機器分野では厳しい受注環境が続いておりますが、部品需要が回復基調にある通信向け分野を中心とした受注拡大のため東北工場に新ライン建設を行い、積極的な受注活動に努めるとともに、生産拠点の統合の実現に向けた活動を行ってまいりました。

この結果、売上高は2,556百万円（前年同期比16.6%増）、営業損失は18百万円（前年同期は営業損失299百万円）となりました。

② 中国

当第2四半期連結累計期間は、米中貿易摩擦による受注低迷により、受注環境が急速に悪化しておりますが、こうした状況に対応すべく経費削減に取り組んでまいりました。

この結果、売上高は731百万円（前年同期比23.1%減）、営業利益3百万円（前年同期比97.0%減）となりました。

③ フィリピン

当第2四半期連結累計期間は、前年同期に比べスポット的受注が減少しており、また車載製品の部品需要も低迷する中で、収益力の向上に向け、歩留り改善を中心とした収益改善活動に努めてまいりました。

この結果、売上高は634百万円（前年同期比15.5%減）、営業利益は40百万円（前年同期比55.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金が685百万円増加したこと等から、前連結会計年度末と比べ770百万円増加し10,077百万円となりました（前連結会計年度末は9,307百万円）。

負債は、1年内返済長期借入金が265百万円、長期借入金が302百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比べ620百万円増加し、5,648百万円となりました（前連結会計年度末は5,027百万円）。

また、純資産は利益剰余金が180百万円増加したこと等から、前連結会計年度末と比べ149百万円増加し、4,428百万円となりました（前連結会計年度末は4,279百万円）。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度から引き続き国内において営業赤字の状況が継続しており、当第2四半期連結累計期間において継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

しかしながら、当社グループは、前連結会計年度において、新製品受注に向けて東北工場に新ラインを建設することに加え、一層の生産性向上・合理化による収益力向上を図るため鈴川工場の生産機能を東北工場に統合するとともに、プレス・めっき一貫生産の強化のため、プレス生産を東北工場に集約する生産拠点の再編を決定しており、今後上記施策を着実に実行していくことで、当該事象又は状況を解消できると考えております。

また、当社グループは、今後必要な資金について、取引金融機関から支援を引き続き得られる見通しであり資金面で問題のないことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しており、継続企業の前提に関する注記を記載していません。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルスによる感染症の拡大により、前回発表の通期業績予想に与える影響が現時点では見通せないことから、2020年7月期の連結業績予想は未定とさせていただき、業績への影響が見通せる段階で改めて開示させていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,898,708	2,645,302
受取手形及び売掛金	1,670,900	2,355,913
製品	110,131	113,810
原材料及び貯蔵品	1,358,319	1,476,734
その他	205,761	250,955
貸倒引当金	△250	△250
流動資産合計	6,243,572	6,842,466
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	156,787	155,416
機械装置及び運搬具(純額)	459,159	449,090
土地	1,226,410	1,226,410
リース資産(純額)	150,108	132,022
建設仮勘定	273,683	492,187
その他(純額)	180,487	195,938
有形固定資産合計	2,446,637	2,651,066
無形固定資産	25,673	93,006
投資その他の資産		
投資有価証券	452,007	363,087
その他	139,325	127,970
投資その他の資産合計	591,332	491,058
固定資産合計	3,063,643	3,235,131
資産合計	9,307,216	10,077,597

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	222,283	376,351
短期借入金	1,133,920	1,128,400
1年内返済予定の長期借入金	552,103	817,441
リース債務	45,473	46,278
未払法人税等	9,907	15,724
その他	517,722	477,623
流動負債合計	2,481,410	2,861,819
固定負債		
長期借入金	1,990,387	2,293,290
リース債務	159,301	135,924
退職給付に係る負債	217,419	194,614
繰延税金負債	55,723	39,799
その他	123,694	123,244
固定負債合計	2,546,526	2,786,874
負債合計	5,027,936	5,648,694
純資産の部		
株主資本		
資本金	962,200	962,200
資本剰余金	870,620	870,620
利益剰余金	1,953,097	2,134,007
自己株式	△125,103	△125,103
株主資本合計	3,660,814	3,841,724
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	116,982	81,499
為替換算調整勘定	503,185	507,309
退職給付に係る調整累計額	△1,702	△1,630
その他の包括利益累計額合計	618,465	587,179
純資産合計	4,279,279	4,428,903
負債純資産合計	9,307,216	10,077,597

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年8月1日 至 2019年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年1月31日)
売上高	3,891,699	3,921,065
売上原価	3,228,957	3,171,493
売上総利益	662,741	749,572
販売費及び一般管理費	720,202	676,437
営業利益又は営業損失(△)	△57,460	73,134
営業外収益		
受取利息	7,633	9,901
その他	13,456	10,508
営業外収益合計	21,090	20,410
営業外費用		
支払利息	23,620	26,378
その他	38,633	20,619
営業外費用合計	62,254	46,997
経常利益又は経常損失(△)	△98,624	46,547
特別利益		
投資有価証券売却益	—	147,494
特別利益合計	—	147,494
特別損失		
固定資産売却損	611	—
固定資産除却損	12,267	—
減損損失	145,444	—
特別損失合計	158,323	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△256,948	194,041
法人税、住民税及び事業税	20,337	11,881
法人税等調整額	△620	1,249
法人税等合計	19,716	13,131
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△276,665	180,910
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△276,665	180,910

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年8月1日 至 2019年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年1月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△276,665	180,910
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△61,436	△35,483
為替換算調整勘定	75,558	4,123
退職給付に係る調整額	△34	72
その他の包括利益合計	14,087	△31,286
四半期包括利益	△262,577	149,623
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△262,577	149,623

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年8月1日 至 2019年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△256,948	194,041
減価償却費	134,061	143,178
固定資産除却損	12,267	—
減損損失	145,444	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△147,494
受取利息及び受取配当金	△7,633	△11,885
支払利息	23,620	26,378
為替差損益(△は益)	6,949	2,045
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△5,151	△22,697
売上債権の増減額(△は増加)	416,561	△679,567
たな卸資産の増減額(△は増加)	△61,248	△121,138
仕入債務の増減額(△は減少)	△23,539	134,835
未払消費税等の増減額(△は減少)	△35,410	74,073
その他	△48,204	△56,919
小計	300,768	△465,149
利息及び配当金の受取額	7,633	12,694
利息の支払額	△23,620	△26,378
法人税等の支払額	△19,958	△9,297
営業活動によるキャッシュ・フロー	264,823	△488,130
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△65,672	△107,838
定期預金の払戻による収入	49,034	138,761
有形固定資産の取得による支出	△225,551	△411,020
無形固定資産の取得による支出	△3,373	△71,039
投資有価証券の取得による支出	△7,552	△7,344
投資有価証券の売却による収入	—	190,165
その他	△6,701	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△259,816	△268,317
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△369,300	△5,520
長期借入れによる収入	1,105,000	883,000
長期借入金の返済による支出	△208,095	△314,758
リース債務の返済による支出	△42,417	△22,571
その他	△11,300	△2,884
財務活動によるキャッシュ・フロー	473,887	537,265
現金及び現金同等物に係る換算差額	35,290	△2,678
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	514,183	△221,860
現金及び現金同等物の期首残高	2,625,005	2,628,319
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,139,188	2,406,459

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。